

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

横浜国立大学キャンパスにおける
カーシェアリング実証実験の実施

横浜国立大学 COI サテライト（代表：中村文彦（理事・副学長））では、横浜国立大学キャンパスにおいて、パーク 2 4 株式会社との連携によるカーシェアリングの実証実験（以下、「本実験」という）を実施いたします。本実験は、文部科学省の「センター・オブ・イノベーション（COI）プログラム」として採択された、本学の「交通対応型 ICT プラットフォームに基づく都市のリデザイン拠点」研究において、大都市郊外地域の新たな交通システムを提案していく取り組みの一環として行うものです。

本実験の概要

期間 : 2016 年 10 月 12 日(水) ～ 2016 年 12 月 22 日(木)
場所 : 横浜国立大学構内 (横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5) (図 1)
対象者 : 横浜国立大学の学生 (学部 4 年生、大学院生) および教職員
実施主体 : 横浜国立大学 COI サテライト
責任者 : 中村 文彦 (横浜国立大学 理事・副学長、同 COI サテライト長)
協力機関 : パーク 24 株式会社、タイムズ 24 株式会社、エコモット株式会社



図1 実験用車両の設置場所

本実験の目的、内容、期待される効果

横浜国立大学キャンパスは、最寄り駅から距離と高低差があり、1万人を超える学生・教職員のコミュニティであることから、交通アクセスに課題のある郊外の住宅地および大規模事業所のモデルと位置付けられます。そのような条件下で、自動車の共同利用に対する人々の意識、態度、そして行動の変化を分析し、新たな郊外型交通システムの提案と社会実装につなげることが目的です。

本実験では、横浜国立大学の学生（学部4年生、大学院生）および教職員から参加者を募り、大学構内に設置された乗用車1台（図2）を共同利用していただきます。自動車の利用は有料で、横浜国立大学COIサテライトの共同研究機関であるパーク24株式会社が提供するカーシェアリングサービス「タイムズ カー プラス」の運用システムと連携し、インターネットによる利用予約、会員専用ICカードによるドアの解錠、車両の返却等を行います。

また、車両設置場所の周りを、人々の交流や情報提供、活動創出のためのスペースにしつらえることで、付加価値化された新たな交通結節点（ハブ空間）としての空間デザイン手法の効果を検証します。

本実験により、大都市郊外の事業所におけるカーシェアリングの役割と課題が明らかになり、空間デザインと連動した新たな交通システムの設計手法の構築が進展し、その社会実装に向けた道筋が具体化されます。



図2 実験用車両

※ 本実験の Web サイト

http://coi-tms.ynu.ac.jp/YNU_CarShare/carshare_html/carshare_index.html

本件に関するお問い合わせ先：横浜国立大学 COI サテライト

（担当）^{ありよし りょう} 有吉 亮 （横浜国立大学 産学連携研究員）

電話：045-339-4039 Email：ynu-cois@ynu.ac.jp